

広報

うわじまちくしょうぼう

第82号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>

春の火災予防運動

3月1日（木）～ 3月7日（水）

「火の用心 ことばを形に 習慣に」

【住宅防火 いのちを守る 7つのポイント】

- 3つの習慣
 - 1 寝たばこは、絶対やめる。
 - 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4つの対策
 - 1 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
 - 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
 - 3 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
 - 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



平成29年中の火災・救急速報 火災概況



平成29年中に宇和島地区管内で発生した火災は40件で、前年の27件に比べ13件の増加となっています。

火災種別では、建物火災20件、林野火災6件、車両火災1件、船舶火災2件、その他火災11件となっています。

出火原因では、たき火12件、配線器具4件、ストーブ3件などとなっています。

昨年なたき火が原因の火災が多く発生しています。風の強い日、空気の乾燥している時はたき火をしないようにしましょう。



平成29年中の救急出場件数は5,105件で、前年に比べ303件増加し、搬送人員は4,749人で249人増加しています。

事故種別では、最も多いのが急病で3,453件、次いで一般負傷750件、転院搬送487件、交通事故298件などとなっています。

救急車で搬送された人の約40%は軽症の患者さんです。救急車の数には限りがありますので、救急車の適正利用をお願いします。



宇和島市で中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練が開催されます。

日時：平成30年10月20日・21日

メイン会場：宇和島市大浦地区埋立地

消防車両約150台

ヘリコプター13機

参加隊員約900人

愛媛県宇和島市を震源とする大規模地震を想定し、中四国9県から多数の消防車両、消防隊員が宇和島市、鬼北町に集結。自衛隊、海上保安庁、DMAT関係各機関も訓練に参加し、倒壊建物からの救出訓練、津波不明者の捜索訓練など大規模な訓練が行われます。



緊急消防援助隊とは、大規模災害が発生した際、全国の消防機関から集結して消防・救助・救急活動にあたる専門部隊です。

文化財防火デー

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損する火災があったことから1月26日は「文化財防火デー」と定められており、このような火災から文化財を守ることを目的に宇和島市でも26日に宇和島城で防火訓練が行われました。訓練では、屋外消火栓による放水やバケツリレーでの初期消火訓練が行われ、その後通報により到着した消防隊による放水及び水幕ホースでの放水を行いました。



1月26日(金)に宇和島南中等教育学校で防災訓練が行われました。訓練は5時限目開始直後、1階食物室から出火した想定で行われ、生徒たちはハンカチで口を覆いながら、迅速にグラウンドまで避難しました。その後、消火体験、起震車体験、煙充満体験、避難器具体験の4つのブースに分かれ各体験を行い、消火器、避難器具の使用方法や煙からの避難の方法などを学びました。



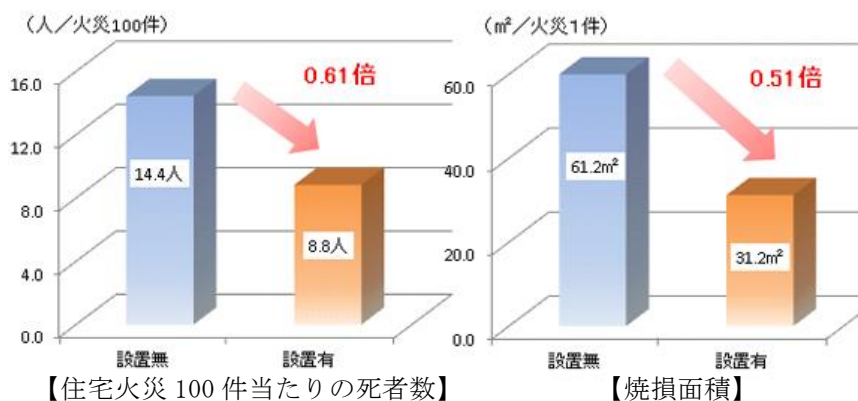
宇和島南中等教育学校防災訓練

火災警報器 設置しましょう!
住宅用

New Old

住宅用火災警報器は、**10年**を目安に交換をおすすめします!

火災死者の7割は住宅で発生しています!!
もしものとき、あなたの命を守るのは住宅用火災警報器です。



住宅用火災警報器を設置することによって、死者の発生数は約4割減、焼損面積は概ね半減しており、火災発生時の死亡リスクや拡大リスクが大幅に減少しています!!

消防職員を名乗る不審な電話に注意

消防職員を名乗る者からの不審な電話が多発しています。

不審電話の例

- 「消防の〇〇ですが、災害時の避難のことについて調査しています。お一人暮らしですか？」
- 「高齢者に防災グッズを販売しています。口座を教えてください。」

自宅を訪問し消火器等を販売しようとするケースもあります。消防署から個人の家へ電話したり、消火器等を販売することはありませんので、十分注意して下さい。不審に思われたらお近くの消防署までご連絡ください。

お問い合わせ：宇和島消防署 TEL 22-7500